30年度　災害時等連絡体制整備への取組みについて

（　和　泉　）町会

発表者：髙田町会長

取組み方法 ・話し合いの時間。回数。メンバー等 ・話し合いの中での意見 ・災害時に支援を要する人をどの様に把握したか ・災害時に支援を要する人はどのような人と決めたか	・話し合い　10/26,11/27,12/25の3回。各2～30分 メンバー・・・町会2役、民生児童委員、防災部長、常会長 ・要支援者の内、未同意者への同意に向けた活動（民生児童委員・常会長・隣組長3人体制） ・同意者は別途様式に登載、災害時対応 ・未同意者（同居親族・自ら避難可能）は一先ず支援は行わないが、災害時の状況により判断 ・町会未加入者は民生児童委員が対応する
現在の状況 ・誰が誰に伝達するか。連絡網はできたか ・連絡網にはどのような町会役員が関わるか ・避難所移送の支援体制は整ったか	・町会長→副町会長→常会長→隣組長 →防災部長 ・伝達は相手、時間、内容等具体的に報告する ・避難移送希望者には、常会長又は隣組長が対応する。
今後の予定 ・支援体制を町会内でどの様に周知するか ・町会ではどのような支援体制を組織する予定か	・12月25日正式決定後常会毎に周知すると共に、同意に向けた活動を実施する。
感想等 ・支援体制整備で特徴的なこと	・要支援登録者の内隣組長への情報提供未同意者が30%程度であったこと、未同意者が支援体制を十分理解していないと思われたことから、積極的に同意を得られる活動をすることからスタートした。

【様式】

町会　災害時等要支援者連絡名簿（案）

①「災害時等要援護者登録」者　　＜町会長 → 副町会長 → 常会長→本人＞

町会連番	常会名	常会長		登録リスト通番	氏　名	ふりがな	性別	隣組名	隣組長		隣組長開示同意	特記事項
		氏名	電話番号						氏名	電話番号		
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												

②「災害時等要援護者登録」者（町会・常会未加入）　　＜町会長 → 本人＞

町会連番	常会名	常会長		登録リスト通番	氏　名	ふりがな	性別	隣組名	隣組長		隣組長開示同意	特記事項
		氏名	電話番号						氏名	電話番号		
8												
9												
10												

③「災害時等要援護者登録」未登録で支援が必要な方　　＜民生児童委員 → 本人＞

町会連番	常会名	常会長		登録リスト通番	氏　名	ふりがな	性別	隣組名	隣組長		隣組長開示同意	特記事項
		氏名	電話番号						氏名	電話番号		
11												
12												
13												
14												
15												